

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 長野県長野西高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒380-8530
長野市箱清水3丁目8番5号

E-mail naganonishi-hs@pref.nagano.lg.jp

Website <http://www.nagano-c.ed.jp/n-nishis>

児童生徒数 男子 326名 女子 515名 合計 841名
児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 地域との連携 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

今年度から特別委員会にユネスコスクール委員会を設置、教頭を含め4人の教員から構成、準備活動や本校におけるESD教育のあり方についての礎を築く活動に取り組んでいる。

国際教養科を中心とした国際交流事業や、校内ですでに実施されている様々な取り組みがESDであり、これらの活動をESDであることを認識しながら、それを有機的に結び付けることを通じ、生徒も教師もESDとして取り組んでいる課題を自分の問題としてとらえ、解決することができるような能力・資質を育成することを目標としている。

① 【国際交流・異文化理解教育】

4月17日 長野マラソン国際交流ブースボランティア(1年7組・40名参加)
4月20日 台北市文徳女子高級中学生33名訪問 学校交流(1年7組・2年7組)
7月22日 信州大学教育学部小池浩子先生高大連携出前授業「異文化理解」(1年7組全員)
8月12日 長野県新規ALTと英語で交流(1年7組全員)
10月11日～11/4 AFS留学生(フランス人男子)受け入れ 4週間(1年7組)
10月17日～11/4 コリブリ日仏高校ネットワーク留学生(女子)受け入れ3週間(2年7組)
11月17日 善光寺ガイドボランティア研修(1年7組 全員)
11月27日 「ワールドフェスタ IN長野2016」への参加(1年7組 5名)
12月21日～25日 Jリーグ インターナショナルユースカップ アナウンス(1・2年8名)
1月13日 信州大学教育学部小池浩子先生高大連携出前授業「異文化理解」(2年7組全員)
3月5～18日 オーストラリア語学研修 2週間(1年7組39名 1年普通科2名 計41名)
3月11日～4/2 フランス短期留学(3週間)(2年7組 女子1名)
3月11日～4/2 ニューカレドニア短期留学(3週間)(2年7組 男子1名)
通年：中国人留学生受け入れ(11ヶ月)
H27年9月～H28年7月 女子生徒1名(2年7組)
H28年9月～H29年7月 女子生徒1名(1年7組)
* 平成26年度～27年度にかけ、英語による善光寺ガイドブックを作成。27年度を中心に地域の中学・高校と連携しながら、英語による善光寺ガイドボランティアを実施。今年度も準備を進めてきた。また善光寺ガイドブックは②信州学の探究学習のためのテキストとしても用いている。

② 【伝統文化・信州学】

<普通科>

各クラスとも班を構成しての調査とそのまとめをクラス内で発表する形をとった。

■時期と経緯 夏休みを中心として、班単位での調査活動をおこなった。終了後、情報の授業はロングホームルーム等を活用して、紙媒体やパワーポイントによるプレゼンテーションを各クラス単位で、9月29日の午後に実施。

■内容

西高の近隣：善光寺の歴史、地附山の地滑り

長野県全体：方言、食文化「ジビエ」、「信州蕎麦」、「信州味噌」、「ワイン」、「おやき」

製造業：「水引」、「ギター」 地元産業の取材と地元の名店紹介 小布施町

長野県の歴史：満蒙開拓団、松代大本営

自然、気候：北信五岳、信州の気候 など

<国際教養科>

■取り組みの時期と経緯

6月より、ACTIVE ENGLISHの時間を使い、個人毎で信州学を英語でプレゼンするための準備を開始。夏期休業中も調査活動を継続し、ALTの指導を受け9月中旬には発表原稿を完成し、2グループに分かれ、授業中に発表活動を行った。最終発表として、9月29日には、代表の9名によるプレゼンを実施。優勝者から3位までを選考した。

■発表の内容

生徒の発表は、大きく区分して、次の2つに分かれた。1つには、昔から現代に伝わる文化遺産と、もう1つには現代産業とこれからの未来に続く信州の在り方を研究したものであった。

文化遺産には、食文化、祭りなどの文化遺産、現代産業では、観光産業、製造業等に注目したものであった。未来に続く信州像を描いた発表には、行政の新たな取り組みを取り上げた作品もあった。

③ 【地域との連携】

■『スポーツレストラン』

3年生の体育の選択授業で週2回実施（通年）、地域の人々に呼びかけ、毎回10～30人の方々が集まり、生徒とともにニュースポーツにいそしむ。参加者の中には連れあいを亡くし引きこもっていた人がこの企画に参加することで、引きこもりが治ったという事例も生じた。また地域の障がい者の方も参加し、障がい者の方とともに過ごすことで生徒自身の成長が認められた。メニューはソフトバレーボール・ボーリング・ペタンク・ターゲットバードゴルフ・ピククルボール・バドミントン・卓球などである。

■一緒に防災訓練

8月31日に全校で防災訓練を実施。本校は周辺地区の避難所となっているが、その地区の人たちに区会を通じ参加を呼びかけ、ともに避難訓練を行い、有事の際の行動の参考にして頂く。今年度は7名が参加。

■その他

・本校は長野県の中でも北に位置し、降雪・積雪もそれなりに多い。また、坂道のある高台に校舎があり、積雪時は自動車運行も苦慮する。その積雪の際には運動系クラブの生徒職員が中心となって、近所の坂道や通学路で雪かき作業を行い、周辺から感謝の電話があるなど地域の連携に貢献している。

・校舎内外できちんとあいさつができる取り組み生徒会中心となって呼びかけを行い、近隣の方からも評判がいい。

・文化祭は『梶の葉祭』という名称で、一般公開も2日間実施（7月上旬）。近隣の方々に来校を募るばかりでなく、生徒会役員を中心に接客マニュアルをつくり学習会なども行い、来校した方々が満足してお帰りになることを優先に取り組んでいる。

④ 【主権者教育・社会的課題の追及】（地歴公民科の授業や総合的学習の時間の中で実施。）

6月 長野市選挙管理委員会による講演会

政党に関する調べ学習

7月 新聞記事を参考に「日本で見られる差別」というテーマでの小論文記述

9月 「消費税率」というテーマで議論

10月 「累進課税制度は公平な課税制度なのか」というテーマで議論

12月 「自分が望むワークスタイル」というテーマで議論(研究授業)

2月 2014年の衆議院総選挙に関する模擬投票 LHRでの選挙に関する調べ学習

「ODAによる国際貢献の仕方」というテーマで議論

⑤ 【NIE活動・人権教育、主権者教育】

・新聞記事紹介・・・教員が交代で、信毎の高校学習シートと同様のものを作成し配付。

全校で実施。生徒に社会的なトピック、課題に注目させ、自らそれについて考える姿勢を養う。

・国語科・・・現代文の授業時に行うドリルの裏面に新聞記事を掲載。丸山真男の「であることとすること」を教材に、政治に関するグループワーク授業

・英語科・・・イギリスのEU離脱について調べ学習→ディスカッション→プレゼン発表
「ニュースな英語」で時事英語学習

・地歴公民科・・・長期休業課題として新聞記事を添付したレポートの作成

現代社会では、ほぼ毎回の授業で新聞記事を使用

(事例) 現代の雇用・労働者問題を扱った研究授業の実施

「東大女子学生に家賃補助」に関する読売新聞への意見投書

⑥ 【通信制ボランティア班 環境整備や地域との交流】

毎週日曜日に登校し、レポート提出により単位を取得する通信制では、登校日の日曜日を中心としたクラブ活動で、地域の環境整備、高齢者施設での交流、使用済み切手集めなどを行っている。

- ・ 地元：箱清水地区での環境整備（ゴミ拾い、落ち葉清掃、雪かき）
- ・ 高齢者との交流（地域の一人暮らしの高齢者との交流、高齢者施設での交流）
- ・ 乳幼児や乳児院職員との交流（善光寺乳児院）
- ・ 使用済み切手集め（県視聴覚障害者福祉協会、国際保健協力市民の会等への寄付）

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）